

授 業 科目名	法学政治学演習	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブ タイトル	身近にある行政法について考える	担当者	鶴尾 和憲			
講義概要	<p>【概要】行政法に関連する様々な問題について、一つ一つの事例を通じて確認していきます。いつ、どこで、どのようなことが問題になったのかということ具体的にイメージし、私たちの生活にとって身近な問題だということを理解した上で考えてもらいます。例えば、路上喫煙の禁止や放置自転車対策など、個人のモラルとの関係についても考えていきます。また、裁判例を素材として使用することもあります。</p> <p>【到達目標】取り上げたテーマについての理解を深めること。様々な問題について関心を持ち、自ら考えることができるようになること。</p>					
履修条件	行政法概論は履修済みであること。行政法総論Ⅰ・Ⅱを平行して履修すること。					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】特に指定しない。</p> <p>【参考書】必要に応じて適宜指示する。</p>					
授業内容	<p>演習の前半部分で事例の解説を行い、問題となっている状況を具体的にイメージした上で考え、発言をしてもらいます。本の中の問題としてではなく、私たちに関係のある問題だということ意識しながら取り組んでもらえるようにします。また、担当者を決めて発表をしてもらうことがあります。</p>					
評価方法	受講状況、報告およびレポートを総合的に判断して評価する。					
評価基準	身近にある問題と行政法との関わりについて自ら考え、意見をまとめることができた者に「A」を与える。理解度や報告内容に不備がある者についてはその程度に応じて「B」または「C」とし、評価方法に挙げた内容に著しく不備がある者については「D」または「E」とする。					
その他	<p>憲法（統治）Ⅰ・Ⅱは並行して履修することが望ましい。</p> <p>※Eカリキュラムの学生は選択必修科目</p>					